

第33回 秋田県優良工事表彰



秋田県マスコット スギッチ

平成24年8月
秋 田 県

表紙：第33回秋田県優良工事表彰から

左上：フォレスト・コミュニティ総合整備事業（米代線藤里4工区）

第RC1202A701号工事

右上：亀福（二期）地区 公害防除特別土地改良事業 第14303号工事

左下：地方道路交付金事業（国道103号）22-FI98-40工事

右下：地方道路交付金事業（国道101号）22-HF13-50工事

第33回 秋田県優良工事表彰式

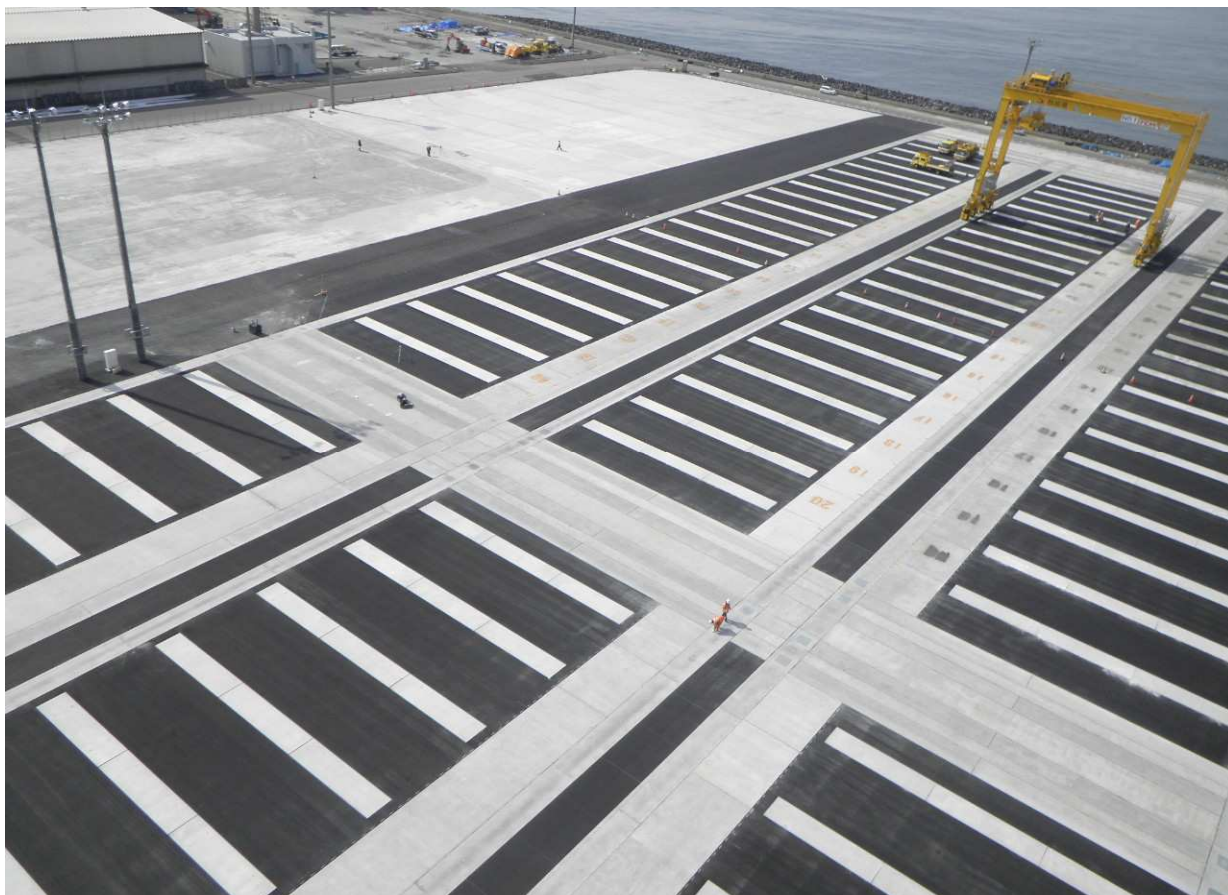
と き 平成24年8月20日(月)

午後 3時45分 ~ 5時

ところ 秋 田 県 庁 正 庁

次 第

1. 開会のことば
2. 式 辞 知 事
3. 審 査 報 告 建 設 部 次 長
4. 表 彰 状 授 与 知 事
5. 来 賓 祝 辞 県 議 会 副 議 長
6. 受 賞 者 謝 辞 受 賞 者 代 表
7. 閉会のことば



第33回秋田県優良工事表彰から
 秋田港国際コンテナターミナル施設整備事業（秋田港外港地区）
 Z311-A5工事
 （秋田市土崎港相染町）

目次

・ お祝いの言葉	2
・ 第33回秋田県優良工事表彰について	3
・ 第33回秋田県優良工事表彰工事一覧表	4
・ 表彰工事の概要	6
・ 秋田県優良工事表彰選考委員会および幹事会名簿	32
・ 秋田県優良工事表彰要綱	33



秋田県知事
佐竹 敬久

お祝いの言葉

第33回秋田県優良工事表彰を受賞されました皆様に対し、心からお祝い申し上げます。

この表彰制度は、県内建設企業の技術力の向上を目的に、昭和55年に創設され、今年で33年を迎えました。

今回受賞された26件は、対象となる1,846件の工事から選定されたもので、優れた施工技術と綿密な施工管理の下に完成された他の模範となる工事であります。

昨今、公共工事のあり方については様々な議論がなされておりますが、このたびの震災復興における建設業の果たす役割が大きいことからもわかるとおり、国民共有の豊かな自然や資源を保全しつつ、安全で快適な生活環境の形成や地域の発展の根幹となる産業基盤の強化に、多大な貢献をしているところであります。

今後とも、県内建設業者の受注機会の確保、県内経済の活性化に努めるとともに、技術力と経営力に優れた企業が適正に評価される環境づくりに努めてまいります。

受賞された皆様をはじめ、建設産業に携わる方々におかれましては、本県における社会資本整備の担い手として、一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます、お祝いのことばといたします。

第33回秋田県優良工事表彰について



秋田県優良工事表彰幹事長

秋田県 建設部 次長

石黒 互

秋田県優良工事表彰は、建設技術の向上を図ることを目的に、県発注工事の中から特に優秀な工事を選定し、これを施工した県内企業と技術者を表彰するもので、表彰には、「優良工事表彰」と単独企業として優良工事表彰5回目の受賞者に与えられる「特別表彰」に加え、平成20年度から小規模工事ながら地域の発展に寄与している企業に対して、各地域振興局長が表彰する「地域振興局長表彰」を設けております。

今回は、平成23年度に完成した工事の中から、26件の工事を優良工事として表彰するもので、施工者の内訳は22社、4共同企業体となっております。このうち、4社が5回目の受賞となるため、これを特別表彰とするものです。

これらの工事においては、最新測量機器の活用による施工精度の向上や安全対策における独自の取り組み、水質汚濁防止等の創意工夫、関係機関・地域住民との円滑な調整などがみられます。このように、綿密な施工管理の下に完成された出来形や品質・出来映えに加え、施工プロセスにおいても特に優れていると評価されたものであり、その御努力に対し敬意と感謝を表すものであります。

今回の優良工事表彰を機に、維持管理時代に対応した新たな技術の習得など、今後とも一層の技術の研鑽と創意工夫に努められますことを期待しております。

第33回 秋田県優良工事表彰 工事一覧表 (1/2)

番号	受賞回数 特別表彰	工事名	工事箇所	施工業者	代表者名	発注公所
1	4	地方特定道路整備事業 (十二所花輪大湯線) 23-I309-10工事	鹿角市 尾去沢	株式会社米村組	米村 茂	鹿角地域振興局
2	5 今回 特別表彰	地方道路交付金事業 (国道103号) 22-FI98-40工事	鹿角市 十和田大湯	株式会社柳沢建設	柳沢 義人	鹿角地域振興局
3	1	幸屋堂ノ前地区 山地災害総合 減災対策治山(火山)事業 第RB1116A041号工事	北秋田市 阿仁幸屋	株式会社上杉組	上杉 操	北秋田地域振興局
4	6	国道道路改築事業 (国道285号) HF54-10工事	北秋田市 米内沢	秋田土建株式会社	北林 一成	北秋田地域振興局
5	9	県単河川改良事業 (小阿仁川) K161-30工事	北秋田市 三木田	株式会社佐藤庫組	佐藤 昌郁	北秋田地域振興局
6	大森5 西村2 秋北8	フォレスト・コミュニティ総合整備 事業(米代線藤里4工区) 第RC1202A701号工事	藤里町 粕毛	大森・西村・秋北 特定建設工事共同企業体	大森 三四郎	山本地域振興局
7	4	地方道路交付金事業 (国道101号) 22-HF13-50工事	能代市 須田	斎藤建設株式会社	斎藤 宗一郎	山本地域振興局
8	5 今回 特別表彰	海岸災害復旧事業 (浅内海岸) 23-22-0239-10工事	能代市 浅内	大森建設株式会社	大森 三四郎	山本地域振興局
9	5 今回 特別表彰	樽沢大堤地区 ため池等整備 ・ため池事業 第23-49301号工事	男鹿市 脇本樽沢	株式会社板橋組	板橋 広光	秋田地域振興局
10	日電興0 千代田0	秋田湾・雄物川流域下水道事業 (秋田臨海処理センター) YA12-15工事	秋田市 向浜	日電興・千代田 特定建設工事共同企業体	進藤 正己	秋田地域振興局
11	6	県単道路補修事業 (国道101号) 23-G354-10工事	男鹿市 脇本脇本	株式会社菅与組	畠山 順太郎	秋田地域振興局
12	秋田6 北部4	秋田港国際コンテナターミナル施設 整備事業(秋田港外港地区) Z311-A5工事	秋田市 土崎港 相染町	秋田・北部 特定建設工事共同企業体	北林 一成	秋田地域振興局
13	5 今回 特別表彰	地方道路交付金事業 (国道108号) 23-HF18-20工事	由利本荘市 矢島町	山科建設株式会社	小川 邦則	由利地域振興局
14	3	地方道路交付金事業 (国道108号) 23-HF18-30工事	由利本荘市 矢島町	小坂工業株式会社	小坂 勇	由利地域振興局
15	宮原組6 沢木組4	道路災害復旧事業 (国道108号) 23-0055-10工事	由利本荘市 鳥海町	宮原組・沢木組 特定建設工事共同企業体	宮原 竜也	由利地域振興局
16	3	強首2期地区 農地集積加速 化基盤整備事業 第28303号工事	大仙市 強首	株式会社小笠原組	小笠原 武男	仙北地域振興局
17	4	鶯野地区 農地集積加速 化基盤整備事業 第07501号工事	大仙市 上鶯野	仲周建設株式会社	仲野谷 康	仙北地域振興局
18	9	神岡西部地区 農地集積加 速化基盤整備事業 第26310号工事	大仙市 北樽岡	秋田振興建設株式会社	小原 将司郎	仙北地域振興局

※ 受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まない

第33回 秋田県優良工事表彰 工事一覧表 (2/2)

番号	受賞回数 特別表彰	工事名	工事箇所	施工業者	代表者名	発注公所
19	6	県単道路補修事業 (国道105号) G856-91工事	大 仙 市 南外南櫛岡	株式会社宮原組	宮原 竜也	仙北地域振興局
20	2	県単道路補修事業 (大曲田沢湖線) G432-20工事	大仙市 高 梨	有限会社県南開発工業	高橋 勲	仙北地域振興局
21	8	県単河川改良事業 (櫛岡川) K388-20工事	大 仙 市 南外南櫛岡	角館建設工業株式会社	仲野谷 藤吾	仙北地域振興局
22	1	通常砂防事業 (小杉崎沢川) LA62-20工事	美郷町 浪 花	株式会社荒屋舗建設	今野 春夫	仙北地域振興局
23	4	亀田堰地区 ため池等整備 事業(用排水) 第06502号工事	横手市 増田町	株式会社最上田組	最上田 政司	平鹿地域振興局
24	2	下郷地区 農地集積加速化 基盤整備事業 第24103号工事	横手市 平鹿町	西田建設株式会社	西田 勉	平鹿地域振興局
25	3	亀福(二期)地区 公害防除 特別土地改良事業 第14303号工事	横手市 増田町	株式会社吉田建設	吉田 博行	平鹿地域振興局
26	3	地方道路交付金事業 (橋梁補修) FI58-50工事	羽後町 田 代	株式会社佐藤建設	佐藤 清次	雄勝地域振興局

※ 受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まない

1 第33回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方特定道路整備事業（十二所花輪大湯線）23-1309-10工事		
施工地名	鹿角市尾去沢		
商号又は名称	株式会社米村組	許可番号	05-008844
請 負 額	59,898,300 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A 級
代 表 者	代表取締役 米村 茂		
監理技術者等	現場代理人 五日市 努		
発注公所	鹿角地域振興局（建設部）		
主任監督員	柴田 和幸	監 督 員	北林 了以
工 期	平成23年6月24日～ 平成23年12月22日	完成年月日	平成23年12月22日
概 要	1) 施工延長 L=160m、幅員 W=5.5(7.0)m 2) 舗装工 A=1,120m ² 、護岸工 A=834m ² 、防護柵工 L=200m		
特 徴	1) 河川に隣接する狭小幅員道路の拡幅工事 2) 河川掘削時の湧水処理における農業取水への配慮		
写 真			
			
交差困難な現道		完 成	
現道を切回しながらの施工			

◆発注公所の表彰理由

- ・ 当工事は、主要地方道十二所花輪大湯線の道路拡幅工事で、現道幅4.5mと狭小で交通量も多い路線での施工であったが、単管打込みによるバリケード設置や仮設盛土等により道路幅員を確保し、通行車両の安全確保に努めた
- ・ また、兼用護岸の施工において、工事箇所下流域で取水している農業用水が濁るのを防止するため、上流から水中ポンプにより取水口へ水を引き込み、水路管理者との調整を積極的に行い、円滑な工事施工に努めた

◆施工業者からのPR

- ・ 当現場は道路幅が狭く通行車両及び歩行者に対し安全を配慮して、工事を進める必要がありました
- ・ 護岸工や防護柵基礎は道路上からの施工が困難なため、河川への進入路を上下流側に設け、仮締切を平坦にし作業ヤードを作成して、河川内からの作業とした
- ・ また、護岸掘削時における転落防止用のバリケードを設置する際は、現道幅を確保するため路肩に単管を打込み、通行車両等の安全確保に努め、工事を円滑かつ安全に進めた
- ・ 地域住民に工事のご理解・ご協力を得るため、着手前に「工事だより」を作成し、自治会長を通し配布して、工事内容の周知を行い、地域住民には挨拶等で積極的に話しかけ、コミュニケーションを図り、円滑に工事を施工した


2 第33回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	地方道路交付金事業（国道103号）22-F198-40工事		
施工地名	鹿角市十和田大湯		
商号又は名称	株式会社柳沢建設	許可番号	05-001843
請 負 額	66,444,000 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A 級
代 表 者	代表取締役 柳沢 義人		
監理技術者等	現場代理人 湯瀬 守		
発注公所	鹿角地域振興局（建設部）		
主任監督員	川村 潤	監 督 員	内藤 泰士
工 期	平成23年3月11日～ 平成23年12月20日	完成年月日	平成23年12月20日
概 要	1) 道路改良 L=280m、W=6.5m(11.5m) 2) 土工 N=1式、舗装工 下層路盤A=1,600m ² 、表層A=2,810m ² 、歩道550m ²		
特 徴	1) 狭隘な現道の拡幅および舗装工事 2) 十和田湖へのアクセスとなる重要な観光ルート		
写 真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 整備前の状況 完 成 歩行者通路の確保 </div>			

◆発注公所の表彰理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 狭隘な現道上において、歩行者対策等安全対策に細心の注意をはらいながら施工を実施 ・ 現場内では水道工事も行われていたが、工程調整により遅れを生じることなく完成させた ・ 周辺環境整備として、草刈りや凹凸がある生活道路の整備を実施 ・ 管理値に独自の設定をする等、施工計画をたてる際に工夫が見られる ・ 出来ばえが優秀であり、出来形・品質共に優れている

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 当工事区間内沿線には住家が並列しており、加えて国立公園十和田湖への観光ルート及び小・中学校への通学路となっていたことから、歩行者通路の確保・粉塵対策及び早期交通規制の開放を主眼に工事を進める必要がありました ・ 粉塵対策と交通開放を兼ね合わせた仮舗装の施工と、工期の短縮を図るため横断暗渠はプレキャスト台付管を使用し、工事のスピードアップに努めました ・ また、この道路工事に合わせ、地元自治会館及び消防分団格納庫の造成工事も計画されていたことから、本線国道への安全性とスムーズな出入りを提案しながら、工事協力を行いました ・ 本工事施工に対し、ご指導・ご協力いただきました各位には心より御礼申し上げますと伴に、本受賞を励みに今後も技術研鑽を重ね、より一層、地域社会に貢献できるよう努力して参りたいと思います

3 第33回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	幸屋堂ノ前地区 山地災害総合減災対策治山（火山）事業 第RB1116A041号工事		
施工地名	北秋田市阿仁幸屋		
商号又は名称	株式会社上杉組	許可番号	05-010032
請 負 額	35,446,950 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 B級
代 表 者	代表取締役 上杉 操		
監理技術者等	現場代理人 菊地 聖悦		
発注公所	北秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	武石 守	監 督 員	近藤 雄樹
工 期	平成23年3月31日～ 平成23年10月28日	完成年月日	平成23年10月25日
概 要	1) 木製治山ダム工(木製床固工) N=2基		
特 徴	1) 木材利用と自然環境に配慮		
写 真			
			
施工前		完 成	
残材活用状況（階段工）			

◆発注公所の表彰理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、ダム工にオール木材を使用したダムの築堤である ・業者は、初めての工法であったが、資材の調達には管内の製材業者を選定し、工程を立案しながら材料の供給、製品の品質チェック、資材の貯蔵方法、ダムの組み立て等を独自で検討しながら施工するとともに、品質・規格の管理チェックを徹底的に行い、出来形、出来映えも優れている ・品質管理では、木材の特性を立案した積み方を検討し、本体部分には防腐に優れた、心材部分を使用すると共に、木材部の残材を利用した歩道や階段を設置し、地域住民への憩いの場を提供している

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は当社で初めて体験する工法であり、工事着手に当たり東日本大震災直後の影響から木材調達不足や木材価格の高騰など数々の課題が想定されたが、地産地消を目標に努力した結果、全て北秋田管内の山林から木材を調達し、製材することができた ・数々の課題を解決するために、品質管理や工程管理を徹底した結果、木製にこだわった治山ダムに対し地元自治会など近隣の関係者に「親しみやすい」など高い評価をいただいている

4 第33回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	国道道路改築事業（国道285号）HF54-10工事		
施工地名	北秋田市米内沢		
商号又は名称	秋田土建株式会社	許可番号	00-024461
請 負 額	87,325,350 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 北林 一成		
監理技術者等	現場代理人 田口 誠		
発注公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	樋渡 晃	監 督 員	小玉 大史
工 期	平成23年3月31日～ 平成23年12月2日	完成年月日	平成23年12月2日
概 要	1) 道路改良工 L=470.0m、W=6.5(12.0)m 掘削 V=24,320m ³ 、路体盛土 V=21,300m ³ 、排水構造物 N=1式		
特 徴	1) 高盛土の安定確保のため、掘削土を改良（石灰安定処理）して、盛土材として流用		
写 真			
至米内沢			
			
着手前	完成写真	石灰安定処理状況	

◆発注公所の表彰理由

- ・本工事は、国道285号滝ノ沢バイパス整備に伴う土工を主とする道路改良工事である
- ・現場発生土の土質試験の結果、無処理では高盛土への流用ができなかったため、生石灰による安定処理が必要となり、盛土の品質確保が重要であった
- ・安定処理土の盛土施工にあたっては、密度試験、コーン指数測定等の品質管理のほか、独自に動態観測を行うなど、品質確保に努めていた
- ・また、盛土法肩に土堤やまくら土のうを設置し、土砂流出・法面崩落防止を図るなど、意欲的に品質向上に取り組む姿勢が見られた


◆施工業者からのPR

- ・本工事は、掘削・路体盛土工が主体となる工事で、安定処理の際に、いかに均一な品質確保を出来るかが課題であった
- ・そのため、生石灰の攪拌が重要となり、混合深（1.0m）が一定になるよう鉄筋を溶接し、深さが分かるようにマーキングした混合バケットを使用することで、品質の向上を図るなどの対策により、良好な試験結果が得られた
- ・土工が道路線形通りに仕上がるよう、路肩部の排水処理を徹底するなどの崩落対策に努めることで完成後の出来形が満足できる形となった
- ・今後も本受賞を励みに環境・安全への配慮やより一層の品質・技術の向上に努め、地域社会に貢献して行きたい

5 第33回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	県単河川改良事業（小阿仁川）K161-30工事		
施工地名	北秋田市三木田		
商号又は名称	株式会社佐藤庫組	許可番号	05-006597
請負額	49,162,050円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 佐藤 昌郁		
監理技術者等	現場代理人 岸野 雄馬		
発注公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	菊池 明彦	監督員	樽田 太郎
工期	平成23年10月28日～ 平成24年3月23日	完成年月日	平成24年3月22日
概要	1) 施工延長 L=697.84m、築堤盛土（セメント改良）V=7,300m ³ 2) 側溝工 L=545m		
特徴	1) 冬期間の施工のため、築堤盛土の品質管理が重要な工事 2) 地元高校生の見学会受け入れなど地域に密着した工事		
写 真			
			
施工前 完成状況 地域貢献(地元高校生の見学会)			
◆発注公所の表彰理由			
<ul style="list-style-type: none"> ・本地区では出水による浸水が頻繁に発生しており、融雪出水期までに工事を確実に完成させる必要があり、早急な対策が求められる中、冬期間での厳しい施工状況下で適切な工程管理を実施し、工事を完成させた ・また、企業提案の張り芝止め杭の強化や、築堤の盛り土勾配管理などに取り組んでおり、出来形も優れていた 			
◆施工業者からのPR			
<ul style="list-style-type: none"> ・現場は河川内のため、雪解けによる増水等が懸念される中での施工であった ・施工区域は広範囲で冬期間の築堤盛土のため、工程管理はもとより、品質の高い築堤盛土を施工するため自主的な盛土管理を実施し、品質の確保に努めた ・また、高校生の現場見学会の実施や工事現場周辺の高齢者宅の除雪、地元行事の万灯火準備へのボランティアに参加し、地域住民との交流に積極的に取り組んだ ・今後もさらなる品質及び技術の向上、地域社会貢献に努力したい 			

6 第33回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	フォレスト・コミュニティ総合整備事業（米代線藤里4工区）第RC1202A701号工事		
施工地名	藤里町粕毛		
商号又は名称	大森・西村・秋北特定建設工事共同企業体		
請 負 額	1,760,305,050 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A 級
代 表 者	大森建設株式会社 代表取締役 大森 三四郎		
許可番号	05-010635	監理技術者等	現場代理人 池田 正広
(許可番号・構成員)	①05-000281 西村土建株式会社 代表取締役社長 能登 信一		
	②05-006893 秋北建設工業株式会社 代表取締役 佐々木 弘則		
(監理技術者等)	①主任技術者 小林 秋也、 ②主任技術者 田中 幹康		
発注公所	山本地域振興局（農林部）		
主任監督員	加賀 正博	監 督 員	佐藤 政樹
工 期	平成21年10月9日～ 平成24年3月23日	完成年月日	平成24年3月19日
概 要	1) トンネル掘削・覆工 L=752m 2) トンネル坑外工 L=168m		
特 徴	1) 地すべり地を含む褶曲や断層の発達した地質の中を掘削するS字線形のトンネル 2) 出現する地質にあった支保パターンを複数採用し、上下半同時併進からインバート工、覆工を実施		
写 真			
			
起点側坑門完成時状況		上半掘削ズリ出作業	地盤改良剤注入口からの出水状況


◆発注公所の表彰理由

- ・比較的掘削の容易な軽石凝灰岩・凝灰質砂岩の中に、事前の調査ボーリングでも把握しきれなかった硬質な玄武岩が出現し、掘削に困難を極める区間があった
- ・また、旧地すべり地帯直下の掘削では、異常な出水にみまわれ、その排水対策と坑内保全・安全掘削のため、地盤改良を同時進行で進めることを提案し、迅速に対応した
- ・悪条件を現場での創意工夫によって克服し、工期内に完成させると共に、切羽観察と測量の座標・変位管理を三次元測量機で行い、誤差無く貫通させた

◆施工業者からのPR

- ・鹿瀬内トンネルは延長L=752.0mあり、掘削は上り勾配で、上下半同時並進で掘削しました
- ・地質は機械掘削に適していましたが、一部硬岩や破碎帯等に当たり掘削が進まない日があり難工しましたが、現場に適応した工法や特殊な機械の採用により、問題をのり超え、無事完成することが出来ました
- ・施工場所は素波里ダム上流の山間部に位置し、掘削に伴い発生する排水は、河川を經由して灌漑用水として使用されているダム湖に流入するため、水質汚濁対策として、特殊なる過水槽やSS濃度・pHの自動計測機等を設置し、目標基準範囲内で放流することが出来ました
- ・掘削に伴う突発的な地山のトラブル発生に対し、発注者はじめ、協力会社、関係各位の皆様から、ご指導・ご協力を承り、心より感謝致します

7 第33回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	地方道路交付金事業（国道101号）22-HF13-50工事		
施工地名	能代市須田		
商号又は名称	斎藤建設株式会社	許可番号	05-000827
請負額	39,585,000円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役社長 斎藤 宗一郎		
監理技術者等	現場代理人 金谷 悟		
発注公所	山本地域振興局（建設部）		
主任監督員	西井 親文	監督員	備前 亨
工期	平成23年3月3日～ 平成23年10月28日	完成年月日	平成23年10月28日
概要	1) 施工延長 L=110m、路体盛土 V=190m ³ 、路床盛土 V=760m ³ 2) 軟弱地盤処理(浅層混合処理) V=4,070m ³		
特徴	1) 確実な改良効果を要求される軟弱地盤処理 2) 施工箇所と隣接する地域とのコミュニケーション		
写 真			
			
完 成		軟弱地盤処理状況	
地元小学生の現場見学会			

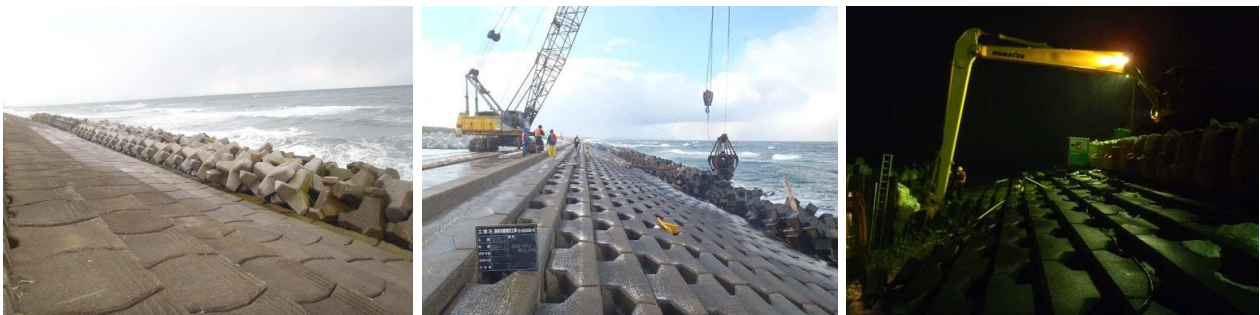
◆発注公所の表彰理由

- ・当工事は、バイパス道路の改築事業として、軟弱地盤処理と路体・路床盛土を実施
- ・軟弱地盤処理工（浅層混合処理）では、ロータリーブレンダーによる攪拌作業を現場状況に応じて、羽切回数を増やすなど品質精度の向上に努め、ボーリングコアによるサンプリング調査についても、各層毎の共試体を作成し試験・確認をするなど品質管理を行った
- ・また隣接地域の工事に対する理解を深めることを目的として、住民や地元小学生を招いての現場見学会を企画するなどの取り組みも実施している

◆施工業者からのPR

- ・工事期間中は、地域とのコミュニケーション、工事へのご協力・ご理解を頂く為、月に1回地元住民の方々へ広報誌の配布を行いました
- ・工事施工中は、水路の増水により苦労した点もありましたが、監督職員及び関係各位のご協力により、無事に完工する事が出来ました
- ・地元の湊城西小学校の1年生の皆様には、授業の一環として現場見学会に参加してもらい、公共工事に対し興味を持って頂きました
- ・監督職員、関係各位の皆様には、心より御礼を申し上げますと共に、今後も更なる品質・技術向上を図り、地域への貢献に努めて参ります

8 第33回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	海岸災害復旧事業（浅内海岸）23-22-0239-10工事		
施工地名	能代市浅内		
商号又は名称	大森建設株式会社	許可番号	05-010635
請 負 額	56,871,150 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 大森 三四郎		
監理技術者等	現場代理人 小野 明		
発注公所	山本地域振興局（建設部）		
主任監督員	西井 親文	監督員	相原 昇
工 期	平成23年9月15日～ 平成24年3月23日	完成年月日	平成24年3月23日
概 要	1) 復旧延長 L=136.8m 根固ブロック撤去・据付 N=284個、根固ブロック製作・据付 N=307個 2) 被覆ブロック2t撤去 N=339個、被覆ブロック2t据付 N=329個		
特 徴	1) 品質向上のための根固ブロックの工場製作 2) 厳冬期の海岸工事における工程管理の取り組み		
写 真			
			
完 成	大型重機による施工状況		夜間工事状況

◆発注公所の表彰理由

- ・ 工期が厳冬期となる厳しい現場条件の海岸工事であったが、根固めブロック製作を工場内で行うなど品質確保に取り組んだ
- ・ 時化の日が多くなる厳冬期の海岸において、気象情報を随時確認しながら風の海象を把握し、仮設工事の工夫、大型重機の使用などにより作業時間の短縮に努め、風の天候の際には早朝・夜間工事も実施するなど厳しい作業環境の中、工期内完成に努めた

◆施工業者からのPR

- ・ 冬季の日本海は自然条件が厳しく、海岸工事においては、極端な稼働率の低下による工事の遅延が懸念されたため、当該工事では稼働率の確保と時間短縮を目的に、次のような対策を主に実施し、無事に工期内に完成することができました
- ・ 海象情報の提供を行う有料サイトを利用し、作業可能な時間帯を逃さずに作業を行いました
- ・ 休日や夜間作業に慣れている海上工事班を配置し、当該工事を優先した社内体制としました
- ・ 小範囲を完成断面近くまで連続して施工し、波浪被害のための手戻り作業を防止しました
- ・ ふとんかご組立・詰石を仮設ヤードで先行し、設置箇所での作業時間を短縮に努めました
- ・ 大型重機の使用により作業半径を拡大し、進入路の必要性を排除し施工期間を短縮しました

9 第33回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	樽沢大堤地区 ため池等整備・ため池事業 第23-49301号工事		
施工地名	男鹿市脇本樽沢		
商号又は名称	株式会社板橋組	許可番号	05-001354
請 負 額	64,114,050 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A 級
代 表 者	代表取締役 板橋 広光		
監理技術者等	現場代理人 村井 聖史		
発注公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	佐藤 善弘	監 督 員	菊池 信二
工 期	平成23年9月28日～ 平成24年3月26日	完成年月日	平成24年3月26日
概 要	1) 堤体盛土工 V=6,677m ³ 2) 堤体法面保護工 A=1,440m ²		
特 徴	1) ため池側、遮水部において盛土の密度及び透水係数を管理しながらの施工		
写 真			
完成写真(堤体盛土)		現場密度試験	
重機災害防止訓練			

◆発注公所の表彰理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事は、県道及び一部民家に隣接しており、施工時には、作業による振動や建物への影響、県道に於ける交通安全対策等細心の配慮が要求され、このような条件下においても現場、会社の施工体制、管理体制が適切であったため、苦情・被害を生じさせることなく工事を完成させた ・ また、工事車両の通行にあたっては、地域住民との間にトラブル等が生じないように、ダンプ運転手に運搬ルートを周知徹底させるなど、様々な対策を良く行った

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 降雪による軟弱化対策として、施工完了後のシート養生(施工日毎)を行うとともに、軟弱部及び凍結部は、撤去してからの再盛土を行った ・ 降雪による不稼働日が頻繁だったため、その都度工程をフォローアップし、運搬車両台数の増台等による工程の調整を行った ・ 運搬に当たり、冬期除雪による車幅減少や民家通行時の振動等が懸念された為、運転手への安全教育を行い、運搬ルートの徹底及び一般車両の優先、民家通行時の速度規制(30km)の徹底を行った

10 第33回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	秋田湾・雄物川流域下水道事業（秋田臨海処理センター）YA12-15工事		
施工地名	秋田市向浜		
商号又は名称	日電興・千代田特定建設工事共同企業体		
請 負 額	206,050,950 円	工種・格付	電気 A級
代 表 者	日本電機興業株式会社 代表取締役 進藤 正己		
許可番号	05-002310	監理技術者等	現場代理人 片山 雅真
(許可番号・構成員)	05-001951 千代田電気工業株式会社 代表取締役 小野地 慎一		
(監理技術者等)	監理技術者 関村 俊明		
発注公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	伊藤 司	監 督 員	熊谷 孝之
工 期	平成22年10月12日～ 平成23年10月31日	完成年月日	平成23年10月31日
概 要	1) ブロワ棟受変電設備更新 2) 第一水処理電気室受変電設備更新		
特 徴	1) 更新する設備は稼働中で、長期間停電ができない現場条件 2) 綿密な仮設計画によって安全かつスムーズに更新を実施		

写 真



全景(ブロワ棟)



電気室(ブロワ棟1F)
【移設完成状況】



撤去予定の高圧盤を仮設設備として利用

◆発注公所の表彰理由

- ・当工事は、終末処理場の主要設備（送風機及び水処理設備）に電源を供給する根幹の設備を更新する工事である
- ・工事箇所が24時間稼働している設備の電源設備であるため、撤去予定の高圧盤を仮設設備として利用し、汚水処理に与える影響を最低限にした
- ・維持管理部門との連絡調整及び安全管理の徹底により事故もなく、工事を完成させた

◆施工業者からのPR

- ・受変電設備の更新にあたって、稼働中の処理場設備の電源を長期停電できないのが今回工事の最大のポイントであった
- ・仮設計画時より、撤去盤を仮設電源盤として再利用する事を検討し、実施したことで切替・停電作業をスムーズかつ安全に施工することができた
- ・専門講師を招いて電気安全セミナーを開催し、電気事故災害防止を図ると共に、処理場の管理業者にも参加いただいたことで、処理場全体の安全意識向上と無事故に貢献することができた
- ・今後も、この受賞を励みに、更なる安全の徹底とより良い品質及び技術の向上に努力します

1 1 第 3 3 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	県単道路補修事業（国道 1 0 1 号） 2 3 - G 3 5 4 - 1 0 工事		
施工地名	男鹿市脇本脇本		
商号又は名称	株式会社菅与組	許可番号	05-000958
請 負 額	40,241,250 円	工種・格付	一般土木 A 級
代 表 者	代表取締役 畠山 順太郎		
監理技術者等	現場代理人 遠藤 智也		
発注公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	柳沢 悟	監 督 員	田中 道
工 期	平成23年6月14日～ 平成23年9月27日	完成年月日	平成23年9月2日
概 要	1) 補強土壁工 L=53.41m 2) 既設構造物取壊 L=53.41m		
特 徴	1) 土砂災害に伴う緊急復旧工事 2) 男鹿市のイベント開催に合わせ、厳しい工程の中、優れた工程管理により大幅に工期を短縮		
写 真			
			
土砂崩れによる擁壁倒壊状況		完成状況	抵抗対部盛土材転圧状況

◆発注公所の表彰理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事は、集中豪雨により生じた法面土砂流出・擁壁倒壊の復旧工事である ・ 国道 1 0 1 号沿いの当現場は、男鹿観光のアクセス道路として交通量が多く、トンネル出口の危険な箇所での施工にもかかわらず、車両通行の安全確保に努めた ・ 背後地が文化財であり、施工に対する規制がある中、環境に配慮し、品質向上に努めた ・ 様々な観光イベント開催を考慮し、工期短縮のための施工計画の提案、工程管理に社内一丸となり取り組み、大幅な工期短縮が図られた 	

◆施工業者からの P R	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現場に直面する法面は、常に落石や土砂崩壊の発生する危険性があり、落石が発生した場合に備え、専任の法面見張員を配置し、サイレンとパトランプが同時に作動するシステムで、瞬時に現場内にいる作業員へ危険を知らせて退避させる等の工夫をしながら、安全の確保に努めました ・ 一日も早く工事を完成させて安全を確保し、交通規制を解除することが、この工事の使命であると同時に地域貢献になると自覚し、全社的な協力のもと、目標を達成することができました ・ 今後もさらなる技術と品質向上に努め、地域社会に貢献できるよう精進したいと思います 	

1 2 第 3 3 回 秋 田 県 優 良 工 事 表 彰 受 賞 工 事

◆工事概要			
工 事 名	秋田港国際コンテナターミナル施設整備事業（秋田港外港地区）Z311-A5工事		
施工地名	秋田市土崎港相染町		
商号又は名称	秋田・北部特定建設工事共同企業体		
請 負 額	222,229,350 円	工 種 ・ 格 付	ほ装 A 級
代 表 者	秋田土建株式会社 代表取締役 北林 一成		
許可番号	00-024461	監理技術者等	現場代理人 金 明彦
(許可番号・構成員)	05-000726 北部建設株式会社 代表取締役社長 北林 孝		
(監理技術者等)	主任技術者 伊藤 学		
発注公所	秋田港湾事務所		
主任監督員	大森 郁夫	監 督 員	渡邊 直
工 期	平成23年8月29日～ 平成24年3月23日	完成年月日	平成24年3月23日
概 要	1) 施工面積 A=16,536m ² 、2) コンクリート舗装 A=1,255m ² 、3) 簡易舗装 A=4,721m ² 4) アスファルト舗装 A=8,130m ² 、5) 高強度PRC版 A=1,340m ² 、6) コンテナ蔵置版 A=1,090m ²		
特 徴	1) 品質向上のためのコンテナ蔵置版の工場製作 2) 施工業者間による工程調整が重要		
写 真			
			
完成状況		P R C 版 設 置 状 況	
コンテナ蔵置版製作状況			

◆発注公所の表彰理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、平成24年4月供用開始の秋田港国際コンテナターミナルにおけるヤード舗装工事であり、供用に向け、ヤード内には同時期に舗装・電気通信・建築・荷役機械整備など最大16社が工事施工に入ったため、業者間の工程調整が重要であり、月1回の定例工事調整会議や安全協議会による合同安全パトロールなどを実施し、円滑な工程管理・安全管理に努め、無事故で工事を完成させた ・出来形管理において全ての工種で、規格値の50%以内に実測値を収めるなど、施工管理が優れており、また、冬期におけるコンクリート養生を考慮してコンテナ蔵置版を工場製作にし、品質の向上に努めるなど、品質確保に工夫が見られた

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・当現場の施工概要は、工種が多く内容も複雑であり、日々の管理を充実することはもちろんの事、出来形管理に於いては、全ての工種を規格値の50%以内を目標に掲げ、実行することができました ・品質管理においては、コンテナ蔵置版の施工が厳冬期となることから、生コンクリートの品質向上を図るため、工場製作品とし施工を行い、安全管理においては、リスクアセスメントを活用したKY活動や、緊急時に備え現場事務所にAEDを設置し、さらには一般の方にも利用できるよう案内看板で明示し、地域への貢献を行いました ・最後に、秋田港国際コンテナターミナルの施工に携わった皆様のご協力に感謝申し上げます

13 第33回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金事業（国道108号）23-HF18-20工事		
施工地名	由利本荘市矢島町		
商号又は名称	山科建設株式会社	許可番号	05-000622
請 負 額	69,009,150 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A 級
代 表 者	代表取締役 小川 邦則		
監理技術者等	現場代理人 伊藤 和也		
発注公所	由利地域振興局（建設部）		
主任監督員	三浦 博満	監 督 員	柿崎 誠治
工 期	平成23年9月2日～ 平成24年3月23日	完成年月日	平成24年3月12日
概 要	1) P1橋脚 N=1基、H=11.5m 2) 道路土工 N=1式		
特 徴	1) 品質管理(コンクリート養生)向上のための創意工夫 2) 出来形管理(配筋)向上のための創意工夫		

写 真



完成状況



「鉄筋測定定規」による出来形管理



「おんどとり jr.」による養生温度管理


◆発注公所の表彰理由

- ・ 厳冬期のコンクリート打設という悪条件を克服するため、コンクリート養生において、ジェットヒーターとダクト付き送風機を使用して養生温度の均一化を図るとともに、「おんどとり jr.」を使用して養生温度管理を行い、品質管理において規格値の50%以内に納めた
- ・ 鉄筋の平均間隔測定に、従来のリボンロッドに代わる「鉄筋測定定規」、ピンポールに代わる「三角定規」を考案し、出来形管理を行い規格値の50%以内に納めた

◆施工業者からのPR

- ・ 河川の増水時における対応として、パソコンや携帯電話等で防災情報を把握し、現場との緊急連絡体制を密に図る事により無事故、無災害で完成することが出来た
- ・ 河川の汚染防止においては、オイルフェンス付発電機を使用して漏油対策を行った
- ・ 監督員はじめ関係各位のご指導に心より感謝を申し上げますと伴に、今後もこの受賞を励みにさらなる技術の研鑽に努め、地域社会への貢献をして参ります

1 4 第 3 3 回 秋 田 県 優 良 工 事 表 彰 受 賞 工 事

◆工事概要			
工 事 名	地方道路交付金事業（国道108号）23-HF18-30工事		
施工地名	由利本荘市矢島町		
商号又は名称	小坂工業株式会社	許可番号	05-011613
請 負 額	10,789,800 円	工 種 ・ 格 付	ほ装 B 級
代 表 者	代表取締役 小坂 勇		
監理技術者等	現場代理人 佐藤 秀樹		
発注公所	由利地域振興局（建設部）		
主任監督員	三浦 博満	監 督 員	加藤 勝広
工 期	平成24年2月27日～ 平成24年3月30日	完成年月日	平成24年3月26日
概 要	1) 施工延長 L=460.0m 2) 下層路盤工 A=4,070m ²		
特 徴	1) 気象条件や短い工期という制約条件の克服 2) 安全管理や苦情の未然防止のための細かな工夫		
写 真			
			
完成状況		路盤材ストック状況	
法面バケットを用いた除雪状況			

◆発注公所の表彰理由

- ・降雪、降雨時期の施工であるため、下層路盤材の含水比管理において、現場から1km以内のプラントに材料をストックし、シート養生するなどの工夫を凝らした
- ・除雪作業時に法面バケットを使用することにより、圃場への碎石飛散防止対策を行った
- ・また、路盤材料運搬時に同時追跡走行運転を行うことにより過積載や道路上への碎石落下を防止し、車輛通行の安全を確保するとともに、苦情等を未然に防ぐ工夫がみられた

◆施工業者からのPR

- ・本工事施工時は、近年希にみる豪雪で、3月に入っても降雪が予想される気象条件でした
- ・また工期が33日間と短く、現場を通行する隣接工事の120t大型クレーンの搬入日も決定済みでの工程管理でしたが、工期内完成検査で完成させる事ができました
- ・監督職員はじめ、関係各位の皆様の御指導とご協力によりまして、無事故・無災害で完成させる事ができ、心より感謝とお礼を申し上げます
- ・今後も、この受賞を励みとし安全を第一に考え、常に創意工夫を重ね良質な製品を作り出し、顧客の信頼を勝ち取り地域社会への貢献を目標に努力して参りたいと思っております

15 第33回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	道路災害復旧事業（国道108号）23-0055-10工事		
施工地名	由利本荘市鳥海町		
商号又は名称	宮原組・沢木組特定建設工事共同企業体		
請 負 額	58,528,050 円	工種・格付	法面 A 級
代 表 者	株式会社宮原組 代表取締役 宮原 竜也		
許可番号	05-010808	監理技術者等	現場代理人 黒川 和弘
（許可番号・構成員）	05-005082 株式会社沢木組 代表取締役 沢木 則明		
（監理技術者等）	主任技術者 笹淵 一成		
発注公所	由利地域振興局（建設部）		
主任監督員	薄田 智英	監 督 員	小林 勇
工 期	平成23年9月29日～ 平成24年3月27日	完成年月日	平成24年1月23日
概 要	1) 復旧延長 L=82.0m、掘削工 V=3,140m ³ 、法面整形 A=2,360m ² 2) 植生工 A=1,750m ² 、吹付け A=1,350m ² 、雪崩予防柵 N=5基		
特 徴	1) 施工機械の選定などにより、工期を短縮し早期に全面開放 2) 使用材料を厳選した品質管理などの向上の取り組み		
写 真			
			
完成写真		セーフティークライマー工法による法面掘削	吹付けモルタル施工状況

◆発注公所の表彰理由

- ・ この工事は、平成23年6月の集中豪雨で被災した道路法面の復旧する法面工事で、当初の全面通行止めを経て片側交互通行で供用しており、早期に全面復旧することが求められた
- ・ 法面掘削において、セーフティークライマー工法の採用により作業の安全を確保し、併せて大幅に工程を短縮した
- ・ 法枠工の吹付けモルタルに早強ポルトランドセメントを使用し、防凍剤を添加して強度の早期発現と品質の確保に努めた
- ・ 雪崩予防柵の吊りワイヤーロープに擦れ保護材を取り付け、施設の長寿命化を図った

◆施工業者からのPR

- ・ 本工事の施工にあたっては、本格的な降雪の前に、交通規制を解除するという目標に向け、機械の選定や使用材料の工夫を行うと共に、工程のこまめなフォローアップと法面作業員の増員により、工程の短縮を図りました
- ・ 国道108号を通行する車両の安全確保として、徹底した落石防止対策を講じ、法面から道路への雨水の流出防止を行うなど、第三者災害の防止にも力をいれました
- ・ 今後も、法面工事のエキスペートとして品質の高い構築物を提供できるよう、技術の向上に努めていきたいと思っております

16 第33回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	強首2期地区 農地集積加速化基盤整備事業 第28303号工事		
施工地名	大仙市強首		
商号又は名称	株式会社小笠原組	許可番号	05-060314
請 負 額	54,125,400 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 小笠原 武男		
監理技術者等	現場代理人 加藤 誠		
発注公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	須藤 邦彦	監 督 員	水沢 茂樹
工 期	平成22年5月24日～ 平成23年5月31日	完成年月日	平成23年5月30日
概 要	1) 整地工 A=14.2ha、用水路工 L=1,100m 2) 排水路工 L=182m、道路工 L=215m		
特 徴	1) フリュームの目地破損防止を考慮した伸縮目地の施工 2) 農家の営農に配慮した整地仕上げの施工		

写 真



完成写真(全景)



伸縮目地施工状況



鉄柱による仕上げ状況

◆発注公所の表彰理由

- ・用水路工において20mに1箇所の割合で膨張・収縮による目地破損を防止するため、シーリング材を用いて伸縮目地を施工し、コンクリート二次製品の長寿命化に貢献した
- ・整地仕上げでは、鉄柱を用いて最終仕上げを行って出来栄の確保と、地耐力の確認を行って軟弱箇所がないことを確認してから農家へ引き渡した
- ・学校や地域住民にチラシ等の広報活動を行うとともに、現場においては、安全ロープや看板等を設置し、登下校の時間帯には、大型車両の出入りを規制し、交差点等の危険箇所に交通誘導員を配置して安全確保に努めた

◆施工業者からのPR

- ・排水路工事が施工済であったため、重機稼働による製品のズレ・不等沈下・クラック防止のため、施工区間すべてに切りばりを設置し排水路の移動防止に努めた
- ・水路布設終了時に、すべての路線で中心線のズレの有無の確認を実施すると共に、全本数において、製品のひび割れの有無・モルタル目地接続状況確認を行い、出来形・品質・外観に問題がなく良好な事を確認した
- ・当現場では農家雇用促進のため、地元農家(2名採用)に現場作業に従事してもらいながら、地域住民の皆様とスムーズで密なコミュニケーションをとる事ができ、作業の上でも、現場の状態・条件・特性等を把握し、円滑な工事を行うことが出来た
- ・工事の進捗を見守ってこられた受益者が、安心・信頼・満足できる「ほ場整備工事」を目指し施工してきた中で、トラブルもなく無事故で工事を完成することが出来た

17 第33回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	鶯野地区 農地集積加速化基盤整備事業 第07501号工事		
施工地名	大仙市上鶯野		
商号又は名称	仲周建設株式会社	許可番号	05-000219
請 負 額	84,142,800 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 仲野谷 康		
監理技術者等	現場代理人 高橋 駿		
発注公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	伊藤 明大	監 督 員	鈴木 努
工 期	平成23年7月22日～ 平成24年3月26日	完成年月日	平成24年3月26日
概 要	1) 用水路工 L=3,124m 2) 排水路工 L=548m		
特 徴	1) シール材による伸縮目地を約30m間隔に設置し膨張によるひび割れ防止を図った 2) コンクリート二次製品は秋田県リサイクル認定製品（溶融スラグ入り）を使用		
写 真			
			
完成写真		伸縮目地の施工状況	
			
		秋田県認定リサイクル製品	

◆発注公所の表彰理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該工事の一部区間は主要地方道と近接しているが、交通整理員配置の徹底により作業環境の改善及び事故防止に努めた ・ 用水路の施工に於いては、ほ場の短辺方向に約30mに1箇所の割合でシール材による伸縮目地を設置し、膨張・収縮に伴うクラックの発生防止を図ることでコンクリート製品の長寿命化にも寄与している ・ 地区周辺の受益者に工事広報を配布し、要望をとりまとめるなど、工事に対する理解と連携を図るなど良好な地元調整を行い、積極的な地域貢献がみられた

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事は、施工箇所が点在しておりましたが、当局のご指導のもと、土地改良区や関係受益者、地域の皆様にご協力を頂き、無事竣工を迎える事ができました ・ 今後も、この度の受賞を励みに安全・品質・環境に配慮し、更なる技術の研鑽に努めると共に、地域社会に貢献できるよう努力して参りますので、宜しくお願い申し上げます

18 第33回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	神岡西部地区 農地集積加速化基盤整備事業 第26310号工事		
施工地名	大仙市北檜岡		
商号又は名称	秋田振興建設株式会社	許可番号	05-000250
請 負 額	99,194,550 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 小原 将司郎		
監理技術者等	現場代理人 佐藤 寛		
発注公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	白山 敦	監 督 員	佐藤 雅人
工 期	平成22年5月24日～ 平成23年5月31日	完成年月日	平成23年5月31日
概 要	1) 区画整理工 A=11.3ha		
特 徴	1) 転作作物等の作付けにより工期の制約を受けることから、工程管理に特段の配慮が求められ、施工の運営進捗・地元調整等に特段の配慮を要した		
写 真			
			
着工前	完 成	人力による排水対策状況	

◆発注公所の表彰理由	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事区域内には特に軟弱な部分があったが、施工前に人力による排水対策を行い基盤面の強化を図るなど、天候に左右されやすい条件でながらも期日までに完成させた ・ また、超低騒音型やバックモニター付機械の採用などにより、自然環境面や作業安全面にも配慮した ・ 隣接関連工事関係者で組織する安全協議会の事務局長を務め、合同安全パトロールを提案実施し、事故防止に努めた

◆施工業者からのPR	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮設計画の工夫…工区外への用水供給に防水シート及び動力発電機を用いて配慮した ・ 品質向上の工夫…軟弱田の人力水切りを充分実施し、基盤面の強化を図った ・ 安全対策の工夫…安全協議会事務局長を務め合同パトロールを実施し、事故防止に努めた ・ その他の工夫 …自然環境や作業安全面に配慮し作業機械の選定をした (超低騒音型・バックモニター付き機械)

19 第33回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	県単道路補修事業（国道105号）G856-91工事		
施工地名	大仙市南外南櫓岡		
商号又は名称	株式会社宮原組	許可番号	05-010808
請負額	40,527,900円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 宮原 竜也		
監理技術者等	現場代理人 畠山 精		
発注公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	永澤 傑	監督員	佐々木 英樹
工期	平成22年10月25日～ 平成23年9月30日	完成年月日	平成23年9月30日
概要	1) 平沢大橋 橋長 L=80.4m、幅員 W=7.5(12.5)m 沓座拡幅、変位制限装置、落橋防止装置、横桁増厚、橋面工		
特徴	1) 発注当初の想定以上の損傷への対処 2) 施工性および品質向上のための工夫		

写 真



架設当時のグラウト不足が確認され再グラウトを追加実施



横桁増厚部の締固不足を防止するため2リフトで打設



新旧打継部に止水シールを施工

◆発注公所の表彰理由

- ・本工事は、昭和56年に架設されたコンクリート橋の補修補強工事である
- ・当初の想定に比べ橋梁の損傷が多い等、橋梁補修工事特有の問題が生じたが、施工計画や設計の変更を行うなど、請負者は発注者とともに問題の解決に努めた
- ・また、コンクリートの打設方法や橋脚沓座の防水処理に工夫を施すなど、施工性や品質の向上に努め、良いモノを作っていこうという請負者や現場代理人の姿勢が随所に見受けられた
- ・さらに、中学生の職場体験や高校生の現場見学の受け入れ等土木工事のPRに貢献した

◆施工業者からのPR

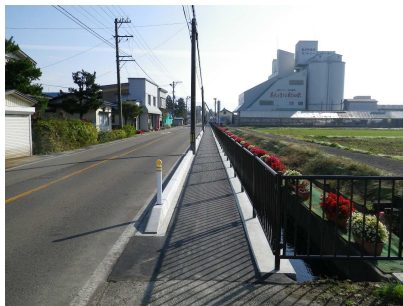
- ・本工事は見通しの悪い現道部の橋梁上部工であり、高所作業や交通規制作業における災害防止のため、徹底した安全管理と事故防止対策を行った結果、無事故で工事を完了する事ができました
- ・構造物の長寿命化対策を重点的に行い、品質の向上に努めると共に、周辺環境の配慮として、環境対策についても新技術を積極的に利用して施工を行いました
- ・暖かいご協力を頂いた地域の皆様、並びに監督職員の皆様方への感謝の気持ちを忘れずに、これからも現場に合った創意工夫の実施等、更なる品質の向上を目指して地域発展の一翼を担えるよう努めて参ります

20 第33回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	県単道路補修事業（大曲田沢湖線）G432-20工事		
施工地名	大仙市高梨		
商号又は名称	有限会社県南開発工業	許可番号	05-010594
請 負 額	14,255,850 円	工種・格付	一般土木 B級
代 表 者	代表取締役 高橋 勲		
監理技術者等	現場代理人 茂木 直樹		
発注公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	長谷川 丘	監 督 員	築瀬 秀樹
工 期	平成23年8月1日～ 平成23年10月31日	完成年月日	平成23年10月31日
概 要	1) 施工延長 L=640.7m、転落防止柵 L=378.4m 2) 歩車道境界ブロック L=468.8m、表層 A=577m ²		
特 徴	1) 当該施工区間が通学路である事による交通安全対策の徹底 2) 農繁期における車両混雑を想定した農業関係者への広報活動		

写 真



完成状況



保安施設設置状況



登下校時の「子供みまもり隊」

◆発注公所の表彰理由

- ・本工事箇所は小学校及び中学校施設を周辺に有する路線で、当該施工区間は通学路であるため、近接居住者のほか、付近の学校の全生徒にチラシを配布する事で工事周知を行い、登下校時には施工作业を中止して「子供みまもり隊」を実施する事で、工事現場内を安全に通学してもらうための活動を徹底した
- ・施工においては、歩車道境界ブロックの目地材に二次製品を使用し工期短縮を図ったほか、舗装の平坦性及び水路部へのすり付け等が丁寧に行われており仕上がりにおいても良好であり、良質な出来形・品質の確保はもとより、地域住民とのコミュニケーションを図ることで周辺環境への影響を最小限にとどめるなど、施工方法の随所に卓越した創意工夫を施している

◆施工業者からのPR

- ・当該工事区間は、住宅密集地を通る小・中学校の通学路であり、また、農繁期の交通障害が懸念されたことから、特に安全確保と工期短縮について努力しました
- ・子供達にはチラシでの呼びかけや登下校時のみまもり隊の実施、歩道を歩きやすいように工事看板の設置の工夫、農繁期における関係者への配慮とご協力をお願い、近隣居住者への広報活動など、交通規制での安全対策を万全にし、円滑に工事を終えることができました
- ・小・中学校の関係者及び保護者、高梨地区の住民の方々、JA秋田おぼこ関係者及び耕作者の皆様には絶大なご協力をいただき誠に感謝しており、今後も、地域住民との密着を基本とし「安全はすべての作業に優先する」をスローガンに、全力を挙げて努力していきたいと思っております

2 1 第 3 3 回 秋 田 県 優 良 工 事 表 彰 受 賞 工 事

◆ 工事概要

工 事 名	県単河川改良事業（櫛岡川）K388-20工事		
施工地名	大仙市南外南櫛岡		
商号又は名称	角館建設工業株式会社	許可番号	05-000160
請 負 額	69,932,100 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A 級
代 表 者	代表取締役 仲野谷 藤吾		
監理技術者等	現場代理人 小山 嘉之		
発注公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	芳賀 豊明	監 督 員	一関 直喜
工 期	平成22年3月14日～ 平成23年10月31日	完成年月日	平成23年10月31日
概 要	1) 築堤盛土 V=2,600m ³ 、2) 排水樋管工 N=1基 3) 護岸工(積ブロック、張ブロック) A=1,351m ²		
特 徴	1) 護岸工のうち、約60%が曲線及び護岸勾配変動区間 2) 工事車両出入口付近県道の幅員が狭く通学路でもある		

写 真



完成状況



ブロック施工状況



工事車両出入口

◆ 発注公所の表彰理由

- ・ 本工事は、護岸工が曲線および勾配変動する区間であるにもかかわらず、技術力を駆使し出来形・品質・出来ばえとも高い評価を得ている
- ・ 工事車両出入口の県道部分が、小中学校の通学路（スクールゾーン）に指定されている為、南外西小学校、南外中学校両校との打合せを行い、交通誘導員の配置による歩行者・一般車両の誘導や道路の清掃を行い、トラブル無く工事を終了し、これらに加え、配置技術者・工程管理・対外関係についても優れている

◆ 施工業者からのPR

- ・ 環境への配慮として、施工区間全体を締切盛土の施工を行い、施工中発生する濁水や重機による油液の流出を無くし、水質、水体系の環境への負荷を軽減すると共に、油液の河川及び民地への流出防止対策として、緊急油液処理セット、土のうを現場に常備し、使用方法や設置作業手順について教育訓練を行い非常事態に備えた
- ・ 地域への貢献として、6月、9月に発生した大雨により、現場上流地域の田畑が灌水し、大量に発生したゴミの処理、除草、除根作業を率先して行った

2 2 第 3 3 回 秋 田 県 優 良 工 事 表 彰 受 賞 工 事

◆工事概要			
工 事 名	通常砂防事業（小杉崎沢川）LA62-20工事		
施工地名	美郷町浪花		
商号又は名称	株式会社荒屋舗建設	許可番号	05-002793
請 負 額	112,808,850 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A 級
代 表 者	代表取締役 今野 春夫		
監理技術者等	現場代理人 田村 洋信		
発注公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	高野 健一	監 督 員	村岡 昭久
工 期	平成23年3月30日～ 平成24年3月19日	完成年月日	平成24年3月19日
概 要	1) 砂防えん堤 N=1基、H=8.0m、L=59.0m、鋼製スリット 2) 取付護岸工（かごマット）L=124m、A=755m ²		
特 徴	1) 残存型枠を用いた砂防えん堤 2) 工出来映え、安全管理の向上及び地域貢献への積極的な取り組み		
写 真			
			
完成写真（下流から）		完成写真（上流から）	
単管を利用した出来形確保			

◆発注公所の表彰理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、比較的規模の大きいコンクリート構造物の施工が主であり、コンクリートの打設・養生管理が重要となる中、打設管理図のもと、各項目を厳格に管理し出来形・品質ともに高い精度を確保し、取付護岸工の施工に際しては、単管を用いる等の工夫により、精度の高い出来形管理に取り組んだ ・また、地域貢献の分野では、インターンシップへの取り組みの他、町道（兼工事用道路）の草刈りや、地域住民への対応も適切に行い、円滑な関係を築いた ・本工事は、出来形・品質・安全管理・創意工夫等、全体的に高い意識での取り組みを実践している 	

◆施工業者からのPR	
<ul style="list-style-type: none"> ・えん堤工の残存型枠は設計上、滑面タイプ（小穴あり）となっておりますが、露出する部分に小穴無し化粧タイプのプロテックピアスワンダーを使用して、景観・見映えに配慮した ・地球温暖化防止（CO2削減）の一環として、バイオマス燃料仕様のダンプトラックを使用して抜根・伐木材の運搬処理を行い環境保全に努めた。 ・4号函渠コンクリートの長寿命化として、高性能収縮低減剤を塗布して乾燥収縮を低減させひび割れを抑制した ・えん堤工のコンクリート打設時に使用したホッパーの下敷きや接触防止のため、電子音とメッセージが流れる玉掛け警報装置を取付け、事故防止に努めた 	

23 第33回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	亀田堰地区 ため池等整備事業（用排水） 第06502号工事		
施工地名	横手市増田町		
商号又は名称	株式会社最上田組	許可番号	05-006460
請 負 額	58,270,800 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A 級
代 表 者	代表取締役 最上田 政司		
監理技術者等	主任技術者 高橋 正利		
発注公所	平鹿地域振興局（農林部）		
主任監督員	佐藤 義隆	監 督 員	福岡 義貴
工 期	平成23年9月27日～ 平成24年3月23日	完成年月日	平成24年3月23日
概 要	1) 水路工 L=421m 大型フリーム B1700×H900、1100		
特 徴	1) 狭隘な作業スペースのなか生活環境に配慮した工事 2) 安全管理、出来形・品質管理における取り組み		
写 真			
完成写真		人力による取り壊し たて込み簡易土留めの設置	

◆発注公所の表彰理由

- ・本工事は、老朽化した水路を取り壊し、大型フリーム水路に改修する工事である
- ・狭隘なスペースのなか、既設の取り壊しにおいてカッターで小割りにし人力で取り壊しするなど、振動及び騒音の低減を図り、生活環境に配慮した工事に努めた
- ・また、たて込み簡易土留めの設置、アンダードレーンの過堀防止、施工基面の泥濘化防止、流用土の養生等に配慮するなど、安全管理、出来形・品質管理にも優れている

◆施工業者からのPR

- ・当工事箇所は、降雪期の雪処理に困難を要する地域でもあることから、12月末の水路本線工事完了を目標に施工体制を組み、地元の要望通り完工することが出来ました
- ・洗場工の階段底部は、大型フリームを切断して施工するので、切断部の鉄筋腐食によるコンクリートの劣化を防ぐため、2cm程度低く切断しコンクリートで嵩上げをしました
- ・1号横断工で、大型フリーム天端と既設構造物の隙間が少ないため丸鋼φ25mmを利用して横引き施工を行い、工程に支障の無い方法としました
- ・工事週報を作成し、地域住民に配布するとともに、地区会館前の掲示板にも貼付し、工事への意見箱を備え付ける等、地域住民と協力を図りながら円滑に工事を進めました

24 第33回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	下郷地区 農地集積加速化基盤整備事業 第24103号工事		
施工地名	横手市平鹿町		
商号又は名称	西田建設株式会社	許可番号	05-002179
請 負 額	52,716,300 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A 級
代 表 者	代表取締役 西田 勉		
監理技術者等	現場代理人 神谷 聖幸		
発注公所	平鹿地域振興局（農林部）		
主任監督員	今泉 裕	監 督 員	石井 崇
工 期	平成23年3月31日～ 平成23年12月22日	完成年月日	平成23年12月20日
概 要	1) 整地工 A=8.8ha、用水路工 L=1,221m、排水路工 L=1,085m 道路工 L=1,467m		
特 徴	1) 排水路法面保護とカメムシ発生抑制を兼ねた法面吹き付けの施工 2) 止水板の「取っ手」にゴミや草が掛からないように工夫し設置 3) 埋蔵文化財発掘作業との調整や住民説明会などの実施		
写 真			
			
完成写真		カメムシ抑制法面保護工	
			
止水板の「取っ手」			

◆発注公所の表彰理由

- ・当該工事区域内の排水路法面での雑草繁茂によるカメムシの発生などにより、周囲の作付け水田に影響を与えないよう、カメムシ抑制効果のある法面保護の独自の実施や、分水工に設置する止水板に操作しやすい「取っ手」を設けるなど、地域農家を考えた工事施工を行っている
- ・また、地区内で発見された埋蔵文化財の発掘、埋設に際しても、地域住民への説明や発掘調査関係機関との調整を図り、速やかに工事を完了している
- ・その他にも、工事施工に当たって、工事区域内の細部まで配慮するなど出来形、品質ともに優れている

◆施工業者からのPR

- ・本工事では、コンパクトなコンクリート二次製品を使用しているため、排水の土工法面が長く草刈り作業が困難なことから、草刈りの軽減が図られ、米の品質に被害を与えるカメムシへの抑制効果が期待できる種子（ディフ・ブレア）吹付を独自で実施しました
- ・従来の止水板の取っ手位置が水路内側に付いていることから、ゴミや草等が巻き付き水量調整が困難であったため、取っ手幅を広げゴミ・草の巻き付き防止を図った結果、水量調節が従来よりスムーズに行えるように改善できました
- ・この他にも、埋蔵文化財発掘作業もありましたが、地元関係者の御協力と御理解を頂き、スムーズに工事を進めることができました

25 第33回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	亀福(二期)地区 公害防除特別土地改良事業 第14303号工事		
施工地名	横手市増田町		
商号又は名称	株式会社吉田建設	許可番号	05-002514
請 負 額	50,465,100 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A 級
代 表 者	代表取締役 吉田 博行		
監理技術者等	現場代理人 東海林 善和		
発注公所	平鹿地域振興局(農林部)		
主任監督員	今泉 裕	監 督 員	石井 崇
工 期	平成23年3月28日～ 平成23年11月30日	完成年月日	平成23年11月30日
概 要	1) 客土工 A=2.3ha、整地工 A=2.2ha、用水路工 L=431m 排水路工 L=275m、土壌改良工 A=2.2ha		
特 徴	1) 地域のPRと環境に配慮した看板の設置 2) 工事現場へのインターシップの受入 3) 農地の部分的な栄養過多を避けるための堆肥の直積み散布を実施		
写 真			
  			
完成写真 環境配慮看板の設置 堆肥の直積み			

◆発注公所の表彰理由

- ・当該工事の現場事務所設置に当たり、周囲の環境に配慮した看板の設置や、学校教育の一環として、地域の高校から当該工事へのインターンシップを受け入れるなど、地域貢献に配慮した工事を実施している
- ・また、土壌改良資材(堆肥)散布に当たり、水田への一時集積による部分的な栄養過多を避けるため、散布機械への直接積込を工夫するなど、受益農家を考えた工事施工を行っている
- ・その他にも、工事施工に当たって、工事区域内の細部まで配慮するなど出来形、品質ともに優れている

◆施工業者からのPR

- ・客土運搬について、国道13号を含む交通量の多い経路を運行したため、安全協議会を設置し、安全パトロール、ダンプ運転者への安全教育や道路清掃等の徹底を図りました
- ・東日本大震災により節電が強く要求される年だったため、秋田県が実施した「全県一斉節電行動」参加し、現場事務所にゴーヤによる緑のカーテンを植栽し、節電に取り組みました
- ・畦畔ブロックの設置に際し、漏水防止の目地コーキング処理及びズレ防止の鉄筋設置等、施工上の工夫を施しました
- ・工事の性質上受益者の立場に立った施工を心掛け、地元住民とのコミュニケーションを重視して円滑に工事を進めました

26 第33回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金事業（橋梁補修）F158-50工事		
施工地名	羽後町田代		
商号又は名称	株式会社佐藤建設	許可番号	05-005263
請 負 額	20,602,050 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A 級
代 表 者	代表取締役 佐藤 清次		
監理技術者等	現場代理人 木村 祐幸		
発注公所	雄勝地域振興局（建設部）		
主任監督員	太田 哲	監 督 員	畠山 雅道
工 期	平成23年3月31日～ 平成23年8月1日	完成年月日	平成23年7月11日
概 要	1) 伸縮継手取り替え L=38.9m 2) 舗装打ち換え工 A=379m ²		
特 徴	1) 出来形管理を規格値の50%以内に納める優れた施工 2) きめ細かな打合せによる工期及び交通規制期間の短縮		

写 真



完成写真



ジェットコンクリート打設後の散水養生



建設ホスピタルの看板設置状況

◆発注公所の表彰理由

- ・ 本工事は、橋梁補修の伸縮装置取替及び舗装の打替である
- ・ 既設橋の伸縮継手・舗装厚等の照査を行い、監督職員との密な打合せ、設計対比図、施工図の作成により、円滑な工事の進捗を図った
- ・ また、綿密な打合せによる施工計画を立て、工程管理をきめ細かく行い、工期及び交通規制期間の短縮に努めた
- ・ 全ての工程において、きめ細かな施工を行い、出来形管理を規格値の50%以内に納めた

◆施工業者からのPR

- ・ 舗装沈下による伸縮継手損傷防止のため、橋梁前後の擦付け部にも橋上と同様に、耐流動性アスファルトを使用し、ゴム入り乳剤による打継目処理を行い沈下・ひび割れを抑制すると共に、伸縮継手においては、温度管理による伸縮量の決定や社内検査の厳密化で、より緻密な材料検収を行い、品質確保に努めました
- ・ 舗装の初期転圧時において、ローラーの運転手が最適締固め温度を把握できるよう放射式温度計を使用して温度測定を実施し、舗装品質の向上を図りました
- ・ 橋梁前後は三叉路及びY字路となっており、合流時の事故を防止するため、現場周辺へのチラシ配布、施工区間への電光板・工事灯・徐行旗・自社作成の建設ホスピタル看板設置により、視認性を向上し事故防止に努めました

秋田県優良工事表彰 選考委員会名簿

選考委員長	副	知	事	堀井啓一
選考委員	総	務	部長	木村宗敬
〃	農	林	水産部長	藤井英雄
〃	建	設	部長	富田耕司

秋田県優良工事表彰 幹事会名簿

幹事長	建	設	部	次	長	石黒互				
幹	事	(秋田県入札制度適正化推進委員会技術専門部会)								
〃	部	会	長	及	川	洋				
〃	専	門	委	員	加	賀	谷	誠		
〃	専	門	委	員	長	谷	部	薫		
〃	専	門	委	員	佐	藤	悟			
〃	専	門	委	員	山	田	寛	次		
〃	専	門	委	員	浅	野	耕	一		
〃	専	門	委	員	永	吉	武	志		
〃	(秋田県知事部局関係課室)									
〃	農	地	整	備	課	長	下	山	昇	
〃	森	林	整	備	課	長	沼	田	行	英
〃	建	設	政	策	課	長	塚	田	善	也
〃	技	術	管	理	課	長	石	山	良	英
〃	下	水	道	課	長	川	井	邦	宏	
〃	道	路	課	長	阿	部	喜	巳		
〃	河	川	砂	防	課	長	齋	藤	春	美
〃	港	湾	空	港	課	長	土	谷	諄	一

秋田県優良工事表彰要綱

(表彰の目的)

第1条 県が発注した工事のうち、優秀な工事を施工したものを表彰することにより、建設技術の向上を図ることを目的とする。

(表彰の対象)

第2条 対象は、前年度に完成した工事とし、秋田県工事成績評定に基づき評価されたものとする。

(表彰の名称)

第3条 名称は、「秋田県優良工事表彰」とする。

(表彰の基準)

第4条 次のすべてを満足すること。

- (1) 当該工事の出来形が優秀であること。
- (2) 当該工事全般の管理状況が良好であること。
- (3) 当該企業において労働災害がないこと。
- (4) 当該企業における各工事の施工成績が良好であること。
- (5) 建設業法及び「建設産業における生産システム合理化指導要綱」を遵守し、他の模範とされる施工企業であること。

(推 薦)

第5条 各所属長は、表彰することが相当と認める工事があるときは、選考委員長へ推薦するものとする。

(選考委員会)

第6条 表彰すべき工事を選考するため選考委員会を置き、その構成は、別表第1のとおりとする。

- 2 選考委員会は、次項の幹事会の調査報告にもとづいて協議し、表彰すべき工事を決定するものとする。
- 3 選考委員会に幹事会を置き、その構成は別表第2のとおりとする。
- 4 幹事会は、各所属長より推薦のあった工事について、当該工事の調査を行い、その結果を選考委員会に報告するものとする。

(表 彰)

第7条 表彰の種類は、優良工事表彰、特別表彰、地域振興局長表彰とする。

- 2 被表彰者は、施工企業の代表のほか、その工事を担当した監理技術者等とする。

(事務局)

第8条 事務局は、技術管理課に置く。

(補 則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、昭和55年5月1日から施行する。

平成10年3月27日一部改訂

平成12年4月1日一部改訂

平成16年4月1日一部改訂

平成18年4月1日一部改訂

平成19年4月1日一部改訂

平成20年4月1日一部改訂

平成21年6月1日一部改正

平成22年4月28日一部改正

1. この要綱は、平成23年4月25日から施行する。
2. 平成22年度の豪雪又は東北地方太平洋沖地震に伴い、契約事項第20条第3項又は第21条第2項の規定に基づき、工期延長された工事で、平成23年4月1日から同年同月末日までに完成した工事については、本要綱第2条に規定する前年度完成した工事として取り扱うものとする。

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

※上記要綱内の「別表第1」及び「別表第2」の構成員は、P32の名簿参照のこと



ユタカな国へ

あき
び
よ
きた
んた

